

「馬場小室山遺跡フォーラム」第94回ワークショップ

【復興の原動力！パブリック・アーケオロジー2019】

馬場小室山遺跡とまちづくり環境の「かかわる」から、「山田湾文化」の「つながる」パブリック・アーケオロジーへ

＜馬場小室山遺跡と「見沼文化」研究の新展開—縄文時代の地域文化と広域連動メカニズム「つながる」の解明—＞
知識・経験・思考・領域等にみられる現代的限界からの証拠に基づく知的解放を目指して活動します！

新展開1 (ムロ1) ～ (ムロ10) は以前のレ ジュメ参照	「ムロさま」の 「限界領域」打破 (墓場の公共性にみ る墓式と葬式、及び 「人骨集積」の真相)	馬場小室山遺跡「第51号土壇」から展望する縄文時代の葬墓式と「土器社会論」—「ムロさま」の 「累積型改新土坑墓」と「積葬墓」から探る「追埋設型土器棺集積墓」への途— (ムロ10)「再帰型再葬墓」の風習と巨大「再葬祭場」の出現【『利根川』40】 (ムロ11)山田町浜川目沢田Ⅰ遺跡における「大洞C1式」の「土器集積の風習」 (ムロ12)「人骨集積」から「土器集積の風習」(祭式と葬式の統合)へ【『古代』142】 (ムロ13)「土器集積の風習」と「逆位壺」がら「再葬壺棺墓」の出現へ【『福島考古』60】 (ムロ14)粗製深鉢棺から大形壺棺の出現へ【『福島考古』60】 (ムロ15)七社宮遺跡の「大洞A1式」期初頭の「逆位人面文注口付壺」【『福島考古』60】
新展開2 (オム1) ～ (オム5) は以前のレ ジュメ参照	「オムちゃん」と 「ムロさま」との 「限界知識」打破	土偶と土面／顔面付土版／人面文土器等の関係、そして容器形土偶／顔壺へ (オム6)大宮台地における人面文土器の類例追加:地獄田遺蹟2例、小林八束Ⅰ遺蹟1例 (オム7)「祭式土偶」から「葬式土偶」(祭式と葬式の統合)へ【『利根川』40等】 (オム8)青森県川原台遺跡と岩手県山田町浜川目沢田Ⅰ遺跡の人面文土器 (オム9)青森県五所川原市五月女菰遺跡の「大洞C1式」土面付鉢 (オム10 予告)「髑髏信仰」は「ムロさま」から容器形土偶や顔壺の土坑墓へ
新展開3 (シオ1) ～ (シオ3) は以前のレ ジュメ参照	「シオ(塩)もん」の 「限界経験」打破 縄文時代の製塩土 器は「採鹹・せん ごう土器」が真相！ 固形塩の物流では なく、「大形魚塩蔵 品」・「汽水系塩 (海水)煮」に留ま らず、濃縮海水を 内陸で希釈する 「淡水魚(含む特 産ウナギ)塩(海 水)煮」の普及か？	「製塩土器」の確立から製塩遺跡の操業へ、爆発的普及の晩期社会と「定住制」の定着 (シオ4)下布田遺跡の「製塩土器」在地性は古鬼怒湾型変遷との乖離！／枯れたアマモを特 定の場所に集めて乾燥させる「塩草場」の存在、及び天日と地熱(熱砂)利用の採 鹹・せんごう工程に相応しい「製塩土器」鉢形態の確立 (シオ5)宇都宮市刈沼遺跡からは寺野東遺跡よりも多数の「製塩土器」が検出し、在地で淡水 魚の「塩煮」が浮上。鬼怒川流域の口縁部形態は下布田遺跡(板状工具＋ナデ調 整)とは大きく異なり、「古鬼怒湾系列」である口縁部水平ヘラカットが定着 (シオ6)三陸北部における「製塩土器」の年代と系統(1)久慈市大芦Ⅰ遺跡の長胴深鉢形態 と僅かな出土点数に注目した「採鹹・せんごう土器」の提唱 (シオ7)六十軒遺跡の「製塩土器」二者(古鬼怒湾ケズリ系列VS無文ナデ系列)の意義 【『利根川』40】 (シオ8)古鬼怒湾で後期中葉から大量出土の粗製土器とウナギのブツ切り「塩(海水)煮」／ 「採鹹・せんごう土器」の定着に果たす古鬼怒湾ウナギ「塩(海水)煮」に注目！ (シオ9)シカやサルが舐めていた「縄文山塩」の発見と「山塩煮」の縄文鍋 (シオ10)「微小貝類から想定される「葦灰」製塩の可能性」？？アマモは「藻灰」×「草灰」○ (シオ11)「製塩土器」に観る「大宮台地系列」(馬場小室山)、「武蔵野台地系列」(正網・下布田) (シオ12)古鬼怒湾の「魚食・塩(海水)煮文化」と加曾利貝塚の「貝食・塩(海水)煮文化」 (シオ13)「補注式灰煮沸法」は現代人のおとぎ話か？「製塩土器」の膨大な個体数と爆発 的普及に見合う「アマモ灰」製作は煮沸によるせんごう過程と二度手間では非効率！ (シオ14 予告)広畑貝塚の「製塩土器」に付着した微小巻貝の観察
新展開4	「ツナがる」の 「限界思考」打破	「見沼文化」は「撚糸文土器」に地域文化形成としての特徴が見られ、「条痕文土器」の地点貝 塚の背景は列島における「縄文海進」のピークにおける海洋資源開発の顕在化にある。 (ツナ1)土器の施文原体として九州から北海道まで貝殻を使用する風習とは？

1.【地域とパブリック・アーケオロジーの底力】：各地域における自然の恵みと基層文化の形成を考えよう！

1-1.【縄文時代早期の「見沼文化」】：「燃系文土器」に続く縄文時代早期文化の動向を学びましょう！

(1)【縄文時代早期文化のイメージ】：図表や写真は著作物からの転載です。無断使用はご遠慮下さい！

・【(横山英介、2011)から転載】北海道にも集落が展開する時期で、土器の出土量も多くなる時期です。

表1 北海道における旧石器時代晩期から縄文時代早期前・中葉の編年

(B. P) 6,000 y.	時代・時期		土器型式群 および 石器群	主 要 遺 跡	理 化 学 的 年 代 (B.P)	
6,500 y.	縄 文 時 代 早 期	後 葉	縄 文 系 土 器 群	梁川町、オカシナイ、東釧路貝塚	5,750±110、5,760±120 6,130±120 (Ko-g)	
7,000 y.		中 葉	沈線文系土器群	白坂、上清水、高木1、北斗1	7,280±170、7,520±150、7,750±120 7,690±125、7,850±90、7,910±80 (中野B) 7,590±80、8,030±105、8,190±130 8,250±115、8,600±180 (中野A) 7,330±130、8,720±130 (駒場7) 8,140±170 (八千代C) 7,620±100、7,630±110、7,720±110 7,079±130、8,270±100、8,600±130 8,700±140 (池田3) 8,800±180 (中野平)	
8,000 y.			貝 殻 文 系 土 器 群	Ⅵ 類		T a - d 火山灰 中野B - (I D 2)、虎杖浜3、 札幌S267・8、沼尻
				Ⅴ 類		釜谷
				Ⅳ 類		住吉町 (下)
				Ⅲ 類		鳴川、石倉貝塚
9,000 y.			Ⅱ 類	中野A - (I B)、駒場7、八 千代C、池田3、テンネル		
	Ⅰ 類	西股、函空第6、石崎、国療裏、 西桔梗1				
10,000 y.	前 葉	押型文系土器群	中野A (H - 1) 川汲			
11,000 y.	旧 石 器 時 代 晩 期	後 葉	有舌尖頭器石器群 (無 文 土 器)	東麓郷1 タチカルシュナイV	10,700±600 10,700±700 (東麓郷1) *	
12,000 y.		中 葉	射の山型細石刃核+ 有舌尖頭器石器群	美利河1 - ⅢB 射の山 間村 吉村	12,020±190 12,270±190 (Ng - a)	
13,000 y.		前 葉	爪形文土器 オシヨロツコ型細石刃核+ 有舌尖頭器石器群	大正3 立川Ⅰ～Ⅴ、メボシ川2、嵐山 2、大空、吉田、大関校庭	12,000～12,500	

(※黒曜石水和層年代)

- 九州から北海道まで広く土器に貝殻(条痕)文が使用される等、列島沿岸において広域に海洋資源の獲得が安定した時期として展望できる大変魅力的な文化です。**北海道の「貝殻文土器」と伴存する石器**

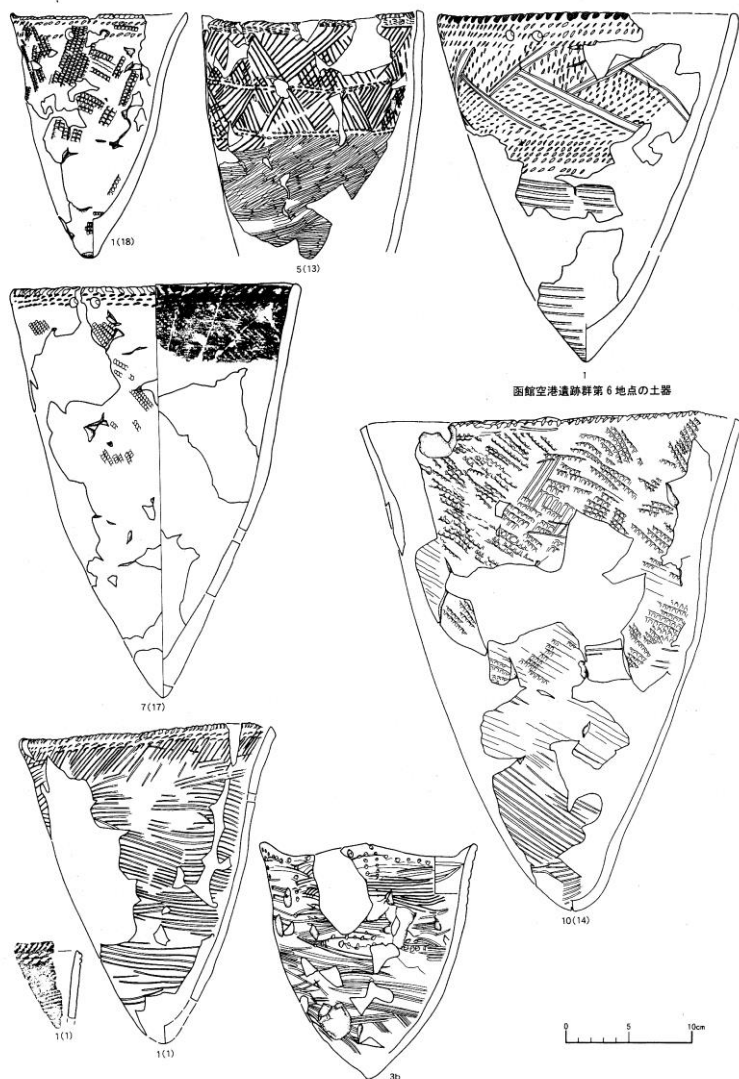


図2 貝殻文Ⅰ類及びⅡ類土器

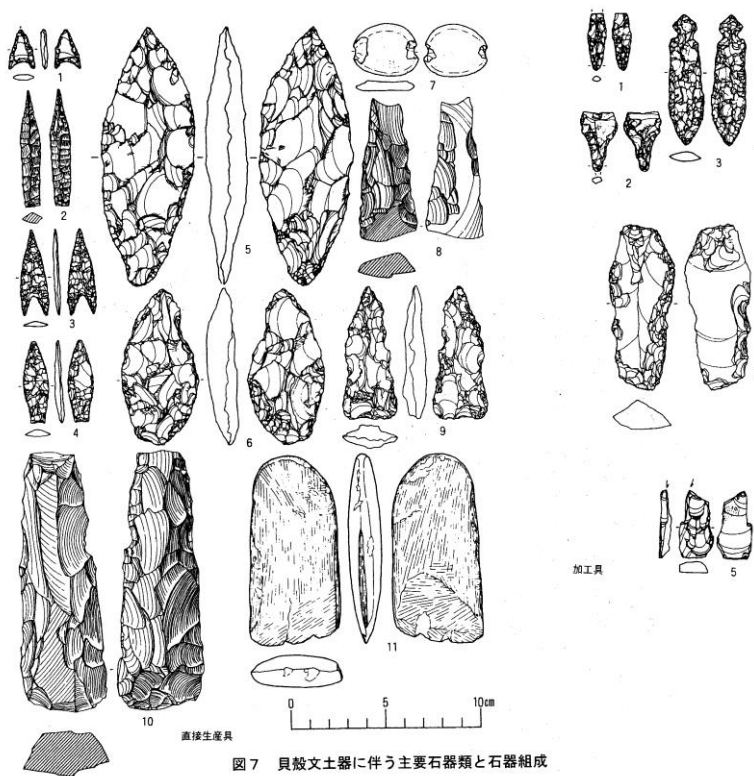
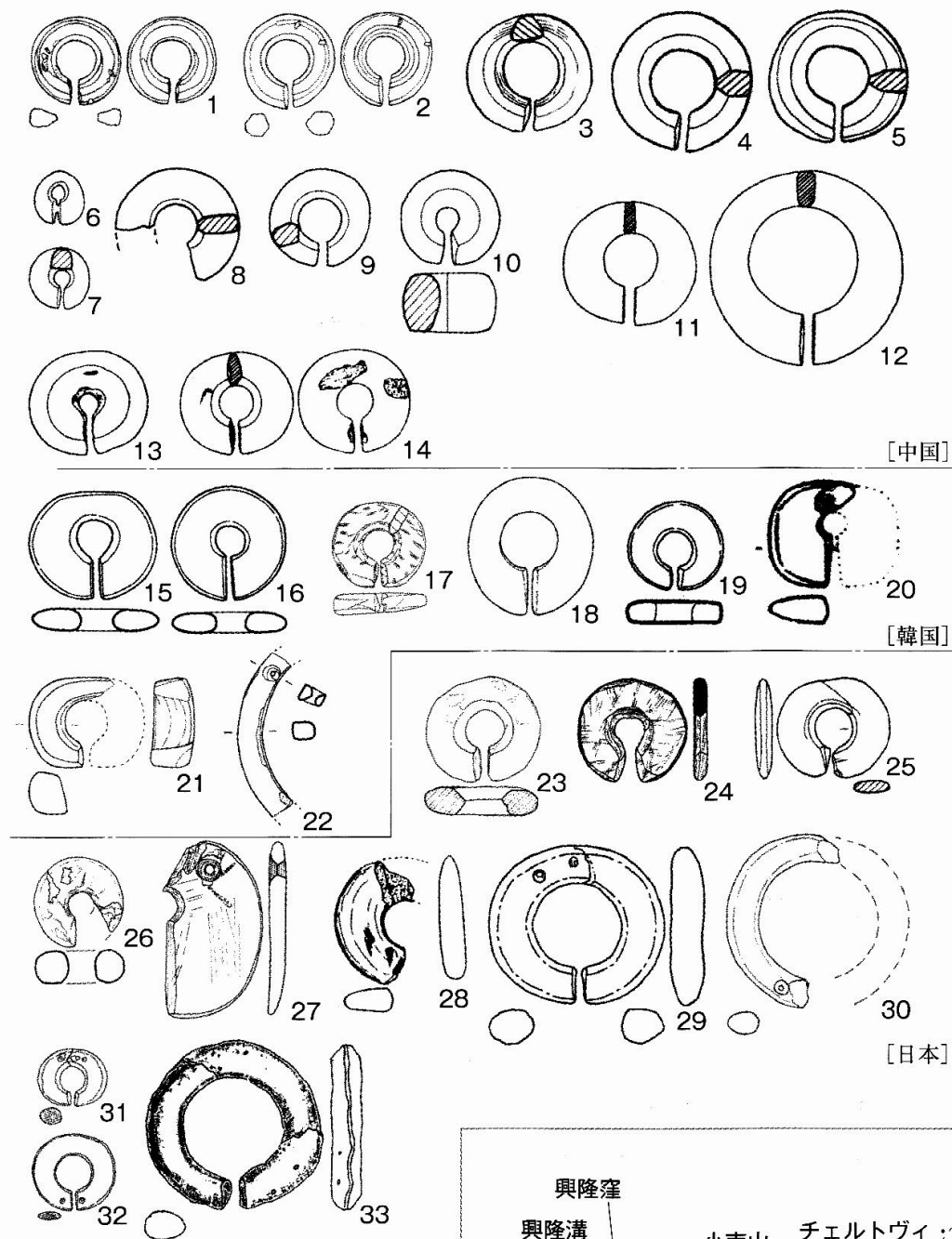
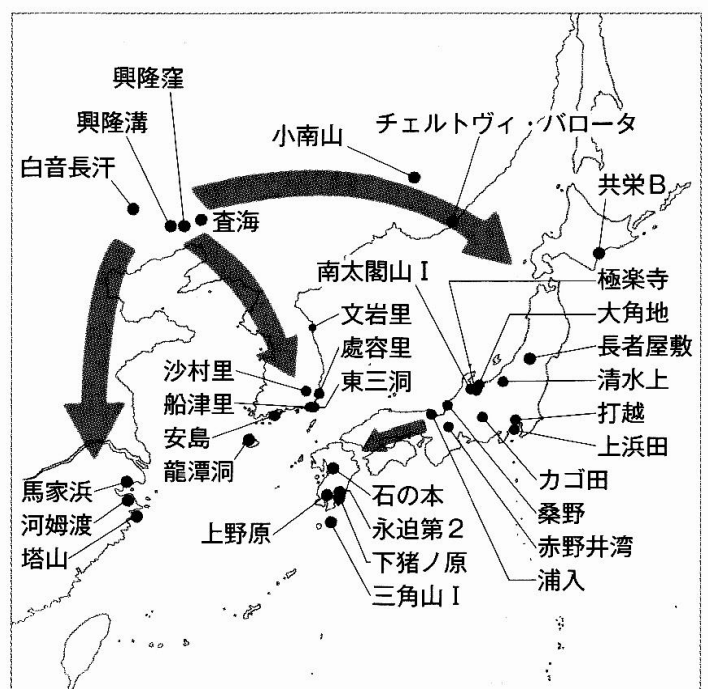


図7 貝殻文土器に伴う主要石器類と石器組成



第4図 各地の玦状耳飾とその伝播経路案
(大坪 2013)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1・2：興隆窪遺跡 | 3～5：査海遺跡 |
| 6～10：河姆渡遺跡 | 11・12：塔山遺跡 |
| 13・14：馬家浜遺跡 | 15・16：文岩里遺跡 |
| 17：處容里遺跡 | 18：船津里遺跡 |
| 19：安島貝塚 | 20：沙村里遺跡 |
| 21・22：東三洞貝塚 | 23：石の本遺跡 |
| 24：永迫第2遺跡 | 25：下猪ノ原遺跡 |
| 26：三角山Ⅰ遺跡 | 27：上野原遺跡 |
| 28：共栄B遺跡 | 29：清水上遺跡 |
| 30：浦入遺跡 | 31・32：上浜田遺跡 |
| 33：カゴ田遺跡 | |



(2)【縄文時代早期の「土器型式」と「見沼文化」】：毒島正明氏の別添資料参照

- ・毒島正明氏は貝塚を形成しない山の冷涼文化系統の「出流原式」(「出流原式」とは弥生時代中期中葉の出流原遺蹟から出土した土器に制定された「土器型式」ですので、後出して別な土器に対して同じ型式名を附するのは学術倫理違反ですよ、本当は！)と貝塚を形成する海の温暖化系統の「子母口式」について専門的な議論を行っています。かつて江坂輝弥氏が南北2系統論を提唱しましたが、編年の確立によって現在では解消されています。毒島さんの議論の詳細は以下の論文をご参照ください。

齋藤弘道・毒島正明 (2018) 「石山神遺跡出土土器の再評価―子母口式と出流原式を中心として―」
『茨城県考古学協会誌』第30号、茨城県考古学協会

- ・今回は「見沼文化」における縄文時代早期遺跡の魅力と地域文化としての重要性を解説頂きます。

1-2. 「山田湾まるごとスクール」：復興10年を見据えた取り組みをさいたま市民に紹介します！

(1)第6回「山田湾まるごとスクール」(9/1-3)の展示発表

- ・3/2(土)・3(日)の両日に行われる**コミュニティーフェスティバル**にブース参加し、「山田湾まるごとスクール」のパネル展示発表を行います。併せて「宮北会」や「野外調査研究会」と交流を行います。
- ・**第6回記録集**は五十嵐聡江編集長のご努力で3/3(日)に発行します。乞う、ご期待！

(2)縄文時代早期に始まる「山田湾の水産考古学」：沢田Ⅰ遺跡の多量の石槍による捕獲対象は？

- ・船越湾に隣接地する大槌湾に面する崎山弁天遺跡では縄文時代早期後葉の「サケの椎骨回転文」が検出されています。山田湾でもイルカに留まらず、サケの捕獲にも石槍を使用した可能性があります。

2.【その他情報交換など】：自由な意見・情報交換とワイン・アーケオロジー

2-1. ワークショップ関連予定

- ・第95回ワークショップの日程について：
 - 4/7(日)に井山紘文氏のグループ展(於:浦和美術館)に合わせて実施するか、
 - 3/24(日)or3/31(日)にお花見ワークショップとするか、何れかに決めたく。
- ・5/4(みどりの日)：馬場小室山遺跡のクリーンアップと青空考古学教室、続いて第96回ワークショップ
★青空考古学教室では大田堯先生とのお別れチラシを配布します！
- ・7/24(水)～8/11(日)：遥かな縄文土器(井出政男個展)ワークショップ ★8/4(日)にワークショップ
- ・12/1(日)：飯塚邦明ジャズピアノコンサートNo. 13 ★ワークショップ後、希望者で文化センターへ

2-2. その他

以 上

【追加資料1】青森県五所川原市五月女范遺跡の「大洞C1式」土面付鉢

【報告書の挿絵から転載】



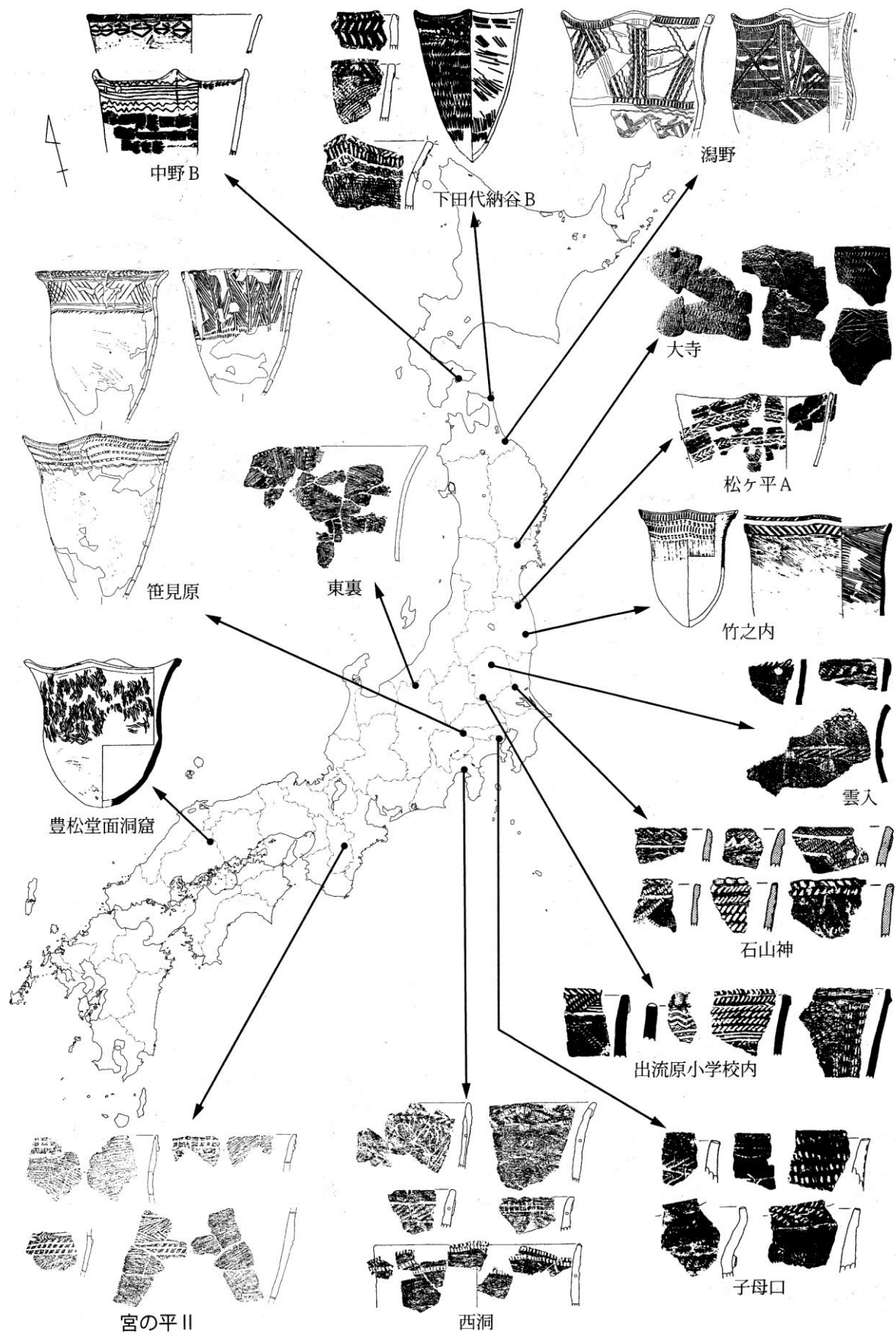


図2 子母口式期の土器群のホライズン